

聞十方

もんじっぽう

第7号

創造と回復

教区教化テーマ

温もりのある

お寺をともに！

教区教化委員会再編
／各部門紹介

発行日 2020年11月1日
発行者 山陽教区教化委員長 中根慶滋
発行所 姫路市地内町1番地
編集 広報・情報発信部門



教区教化委員長
中根慶滋

このたび山陽教区教化委員会の新体制がスタートしました。

まずは「教区は僧侶育成、各組・ブロックは門徒育成」との願いに立ち返り、教化事業の全般を抜本的に点検及び精査され、そのうえで今年度教区教化事業を計画し引き継いでいただいた前委員会の皆様に対し深甚の謝意を申し上げます。このたびのコロナ禍にあって、これまで当たり前としてきた日常生活と価値観は当たり前ではなかったと問い直されることとなりました。その価値観はどこからうまれたものなのか？私たちが悩み苦しみ不安を抱える要素はどこからくるのだろうか？その価値観こそ「人知」、不安を「闇」というのでありましょう。いままさに仏の名を称え、教えに「聞く」生活実践によって闇が自覚され、光がさすところに人として生まれたことの意味をたずね、共なるいのちを生きる生活がひらかれるのではないかと思います。「聞十方」がアツくなりそうです。

教区教化テーマ

「創造と回復 温もりのあるお寺をともに！」

回復ということは、失っているという自覚がなければ始まりません。聴聞によってそのことがあきらかになり、場が創造される動きとなることを願います。

長年の懸案であった事業見直しが行われました。今後は精査された一つ一つの教化事業が大切なご縁となるよう、主体的なご参加をお願いいたします。

また2023年春に予定されております、宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要お待ち受け法要に向けた一大事業として、法話伝道者育成の為の「教区教化センター構想」(仮)を協議していきます。教区内の皆様のご協力をよろしく願いいたします。



教化推進本部長
日野雅範

山陽教区教化委員会 組織図

教区教化委員長(統理)

組教化委員会

男女共同参画推進委員会

解放運動推進協議会

教化推進本部

※【部門理念】【業務】は各部門紹介にて記載

関係教化団体

- ・坊守会・山推協・仏教青年会・児童教化連盟
- ・大谷保育協会・教化研究会・教誨師会
- ・保護司会・准堂衆会・教区同朋の集い・コールサンガ

「人の誕生」・「場の創造」

情報収集・発信

青少年部門

同朋の会推進部門

教学・研修部門

社会問題部門

広報・情報発信部門

教 化 推 進 本 部



写真右から

西村 くるみ(美作組・教本寺)
 谿口 直子(第4組・専覺寺)
 北浦 康至(第3組・稱念寺)
 廣住 美津子(備後組・最善寺)
 本部長 日野 雅範(第4組・善覺寺)
 泉原 寛康(安芸南組・法正寺)
 副本部長 栗栖 寂人(第2組・正行寺)
 松江 長親(備後組・明圓寺)
 西堀 秀行(神戸組・教泉寺)
 中杉 隆法(神戸組・西林寺)
 湯朝 良尚(第3組・長圓寺)
 邨上 了圓(第5組・眞宗寺)※
 寺川 大雅(芸備組・西願寺)※
 以上14名
 ※欠席者

【業務】

- ①教区教化方針の立案に関する事項
- ②中期・長期教化研修計画の立案に関する事項
- ③教化予算の試算に関する事項
- ④各部門・関連団体との連携及び調整に関する事項
- ⑤緊急に取り組むべき課題及び事業に関する事項
- ⑥教化に関する相談に対する応答に関する事項
- ⑦その他必要な事項

【構成】

教化推進本部長及び副本部長、教区会議長、教区門徒会長、各専門部門部長(5名)、委員長及び本部長が推薦した者(5名)

教化推進本部は事業を持たない！！



← めざめえくん

山陽教区
御遠忌
キャラクター

→ あゆもうちゃん



青 少 幼 年 部 門

【部門理念】

次世代を担う青年・少年・幼年の啓発・育成と教化の場の創造に取り組む

【業務】

- ①青年・少年・幼年の啓発・育成及び若手スタッフの育成
- ②各寺子ども会・仏青等の開設支援
- ③その他



部長挨拶

青少幼年部門は昨年の前任者の方々の事業精査を受け、継続して行う事業と新たな事業を展開していきます。新たな事業として、組・地域ごとにおける様々な現状や課題を抽出・集約し、そこからそれぞれの現状に即した青少幼年教化事業をそれぞれの現場と共に模索し展開すべく、また、この事業を中長期的にとらえ、今年度から各組の現状・課題の情報収集を始めたいと思っています。よろしくお願いいたします。

写真右から

山科 立人(第4組・西蓮寺)
 廣瀬 恵美(第6組・東光寺)
 河野 大介(備後組・光圓寺)
 惣持 留理(安芸南組・極樂寺)
 部長 湯朝 良尚(第3組・長圓寺)
 青山 祐一(赤穂組・光明寺)
 木村 慎(第4組・興宗寺)
 以上7名

同朋の会推進部門



【部門理念】

同朋の会(女性同朋の会含む)の結成・充実に向けた取り組み、及び門徒並びに一般の教化の場の創造に取り組む

【業務】

- ①同朋の会(女性同朋の会含む)の結成と充実
- ②推進員養成講座の企画実施及びスタッフの育成
- ③門徒及び一般の教化
- ④その他

写真右から

- 内藤 和裕(赤穂組・明顯寺)
 天川 岳洋(第5組・福乗寺)
 嶋津 周平(第2組・西覺寺)
 部長 西堀 秀行(神戸組・教泉寺)
 勝間 和子(備中組・光明坊)
 柴田 みつ子(第7組・圓覺寺)
 廣岡 祐介(第1組・善徳寺)
 以上7名

部長挨拶

部門名の通り、一カ寺一同朋会を目指し、各末寺やその現場で人知れず苦勞する方々の声にならない声に寄り添い、同朋ということをあらためて問い直していくという願いを抱えています。目下の目標としては、同朋の会推進講座のアフター(本当はスタート)に力点を置いて具体的なサポートに取り組んでいきたいです。

学 研 修 部 門

【部門理念】

住職・教師・僧侶・坊守の育成と場の創造に取り組む

【業務】

- ①教学及び教化伝道の研鑽
- ②声明作法及び儀式の研鑽
- ③その他

部長挨拶

観經疏の二河譬の直前に「解学・行学」と伝統的にとらえられてきた文言がありますが、安田理深師は、その解学と行学について「解学でも自分に関係したら行学になる。自分という問題を忘れていなければ、行学といっても解学になってしまう。解学・行学ということ是对称的にあるのではない」と指摘されています。共に行者として学ぶ姿勢を、教えから問われ続けられるような研修会ができればと思っていますので、皆様のご参加をお待ちしております。



写真右から

- 水野 元(安芸北組・妙蓮寺)
 後藤 由美子(第7組・光圓寺)
 部長 栗栖 寂人(第2組・正行寺)
 宇野 祐慈(第2組・本源寺)
 後藤 功(赤穂組・西教寺)
 以上5名

社会問題部門



写真右から

北風 智史(第4組・願成寺)
 泉 純一(第4組・福乗寺)
 部長 中杉 隆法(神戸組・西林寺)
 飛松 五男(第4組・勝瑞寺)
 發知 道隆(備中組・真光寺)
 房常 晶(美作組・本教寺)※
 谷川 法海(安芸南組・圓光寺)※

以上7名
 ※欠席者

【部門理念】

教区が大切に取り組んでいる非核非戦・阪神淡路大震災・ハンセン病問題をはじめ、様々な社会問題を真宗の教えに基づき自らの課題として取り組む

【業務】

- ①非核非戦・阪神淡路大震災・ハンセン病問題をはじめ様々な社会問題に関する学習
- ②その他

【ハンセン病療養所交流部会】

- 【業務】①ハンセン病療養施設との交流②その他

部長挨拶

社会問題というのは社会が問題なのではなく、社会を形成する私たち一人ひとりの問題が社会にあらわれてきたものだろうと思います。そこから見えてくる私たち一人ひとりのありかた、そこから聞こえてくる人間の嘆きや悲しみに丁寧な耳を傾け、眼を開き、ともにその社会を生きるものとして歩んでいきたいと思っています。頼もしい部員の皆様とともに様々な取り組みをすすめていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

広報・情報発信部門

【部門理念】

教化情報の発信と共有に取り組む

【業務】

- ①教化情報の発信
- ②教化冊子教材の作成・収集
- ③その他

部長挨拶

当部門ではホームページと広報誌「聞十方」の作成を中心に広報情報発信に必要な事業を行います。

ホームページは御門徒さんや所属寺の決まっていない方を対象にします。そのためスマートフォンでの見やすさ、動画の配信など、御門徒さんの興味のある構成を考えます。またオーガニック検索で上位表示を目指します。

『聞十方』はホームページとは異なり、教区内寺院に向け作成します。教化委員会の紹介を始め、末寺に向けた内容を掲載します。

教区内寺院御協力を頂きながら寺院活動の一助になる情報発信をしていきたいと思っています。



写真右から

泉原 奈都子(安芸南組・法正寺)
 福永 雅文(第7組・西勝寺)
 部長 松江 長親(備後組・明圓寺)
 日野 和雅(第4組・善覺寺)
 上岸 佑介(第4組・光専寺)

以上5名

広報・情報発信部門からのお知らせとお願い

教区ホームページをご覧ください <http://sanyo-kyoku.jp>

Facebook @sanyokyoku

Twitter @sanyokyoku_koho

Fax 079-292-1747(山陽教務所)

E-mail sanyo@higashihonganji.or.jp



- ・各種関係書類がダウンロードできます
- ・教区内での活動情報など、掲載ご希望の方はご連絡下さい
- ・ご意見、ご感想、ご要望等、お聞かせ下さい